

カラーユニバーサルデザイン 改善事例

不特定多数のかたが利用する施設のために

その案内・サインの「色づかい」

すべての人が同じ色に見えるのでしょうか？



「わらべ館」
色の見え方のシミュレーション

鳥取県総務部人権局人権・同和対策課



7 調査施設の改善事例

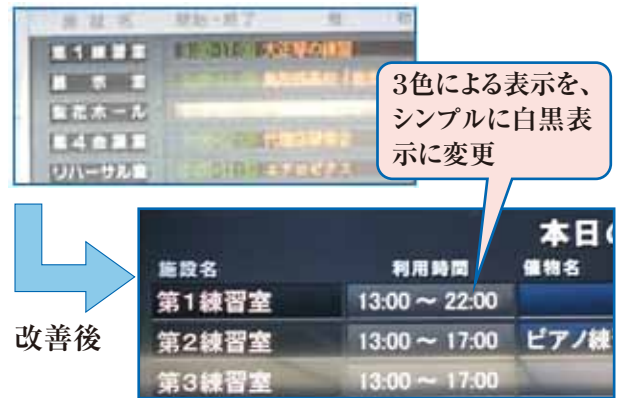
ここからは、調査で指摘のあったことについて、各施設などがカラーユニバーサルデザインの3つのポイントに配慮しながら改善された例をご紹介します。

主に 6 の1に配慮した事例

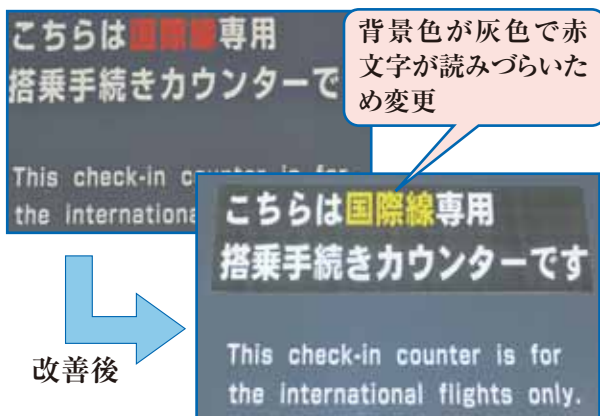
1 【とりぎん文化会館】(階段)



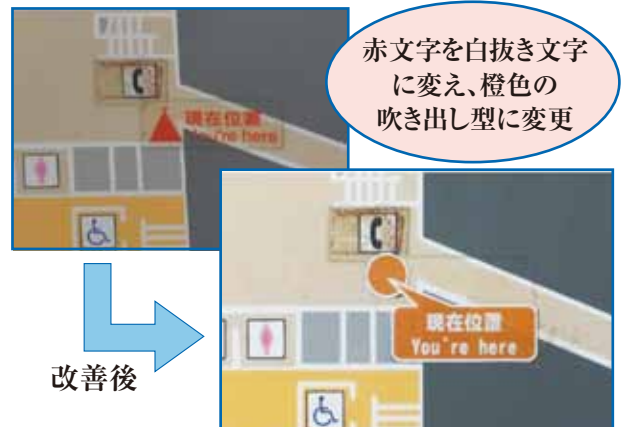
2 【とりぎん文化会館】(電光掲示板)



3 【鳥取砂丘コナン空港】(案内板)



4 【鳥取砂丘コナン空港】(現在地)



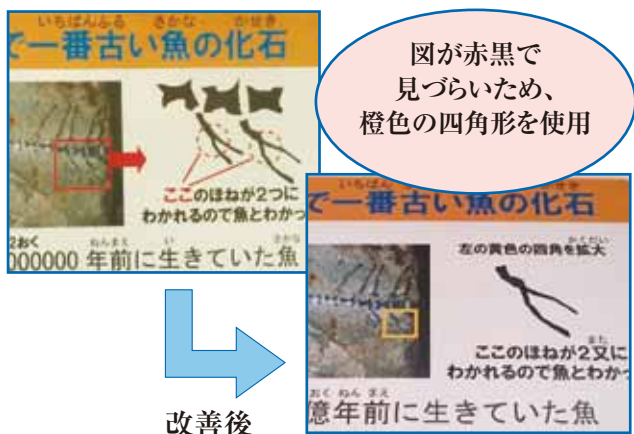
5 【わらべ館】(禁止マーク①)



6 【わらべ館】(禁止マーク②)

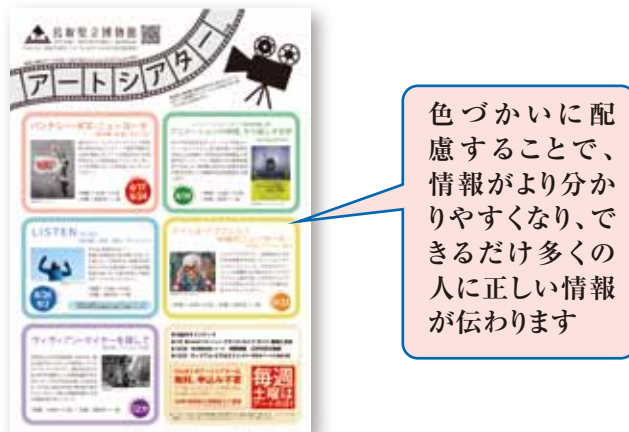


7 【県立博物館】(展示説明図)



主に 6 の2又は3に配慮した事例:文字を太くしたり、絵文字(ピクトグラム)などを使用

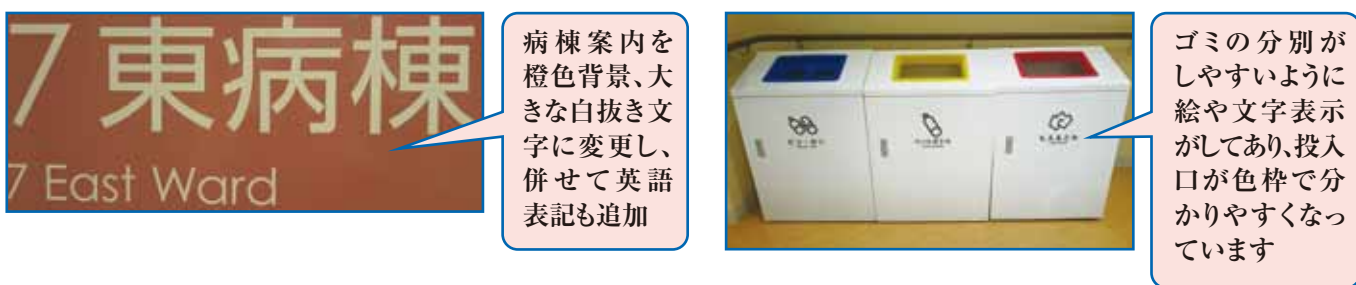
8 【県立博物館】(チラシ)



9 【県民体育館】(案内表示)



10 【調査対象外の医療機関(協力:鳥取赤十字病院)】



8 まとめ

カラーユニバーサルデザインを進める上で最も大切なことは、誰にでも分かりやすい色を使うことです。施設において、案内・サイン・印刷物などの色づかいに配慮することにより、できるだけ多くの利用者に情報が正確に伝わるようになります。この改善事例が、少しでも皆様のお役に立つことを願っています。

詳しくは [鳥取県人権局](#) [検索](#) から「カラーユニバーサルデザインガイドブック」をダウンロードしてください。

問合せ先

鳥取県総務部人権局人権・同和対策課

〒680-8570 鳥取市東町1-220

TEL.0857-26-7121 FAX.0857-26-8138

E-mail:jinken@pref.tottori.lg.jp

